

(参考)

平成 17 年度

能代市水道事業会計決算

(平成17年4月1日～平成18年3月31日 通年数値)

参考であるが、11～30ページは合併による区別をせずに、平成17年度通年で
収支や事業実績を算出し、前年度との比較を行ったものを記載している。

概 況

平成17年度途中で新市が誕生したことで決算審査も旧市町分、新市分と必要となり、それぞれ前述のような監査を行いました。しかしながら平成17年度能代市水道事業の評価、財政等の分析には過去との比較、未来への見通し等々について役立つものであり、敢えて平成17年度通年分として作成しました。

当年度純利益は、合併前の当年度純利益 75,703,659円、合併後は赤字となり当年度純損失 47,011,816円で、差引額 28,691,843円の額となる。これは最近3カ年度で最も少なくなっている。前年度 57,755,523円に比較して、29,063,680円（50.3%）の減となっており、この主な要因は、営業収益が前年度に比較して2,749,283円（0.3%）増加したものの、営業費用がそれ以上の33,034,251円（5.8%）増加したことによるものである。

当年度の経営状況は、決算附属書類の（ ）平成17年度能代市水道事業報告書によると、給水戸数が18,842戸、給水人口46,634人で、前年度に比較して給水戸数が222戸（1.2%）の増、給水人口が344人（0.7%）の減である。給水区域内における普及率は94.2%で、前年度同率となっている。

年間総配水量は5,412,708m³で、前年度に比較し24,348m³（0.5%）の増となったが、有収水量は4,489,551m³で、前年度に比較し 20,772m³（0.5%）の増に止まり、有収率は82.9%で、前年度同率となっている。

用途別有収水量を見ると、主なものは一般用の4,433,700m³で、全体の水量の98.8%を占めており、前年度に比較して16,760m³（0.4%）の増となっている。一般用のうち、家庭用は2,971,249m³で、前年度に比較して19,765m³（0.7%）の増となっている。

1日最大配水量は、平成17年6月22日の19,238m³で、前年度と比較すると492m³（2.5%）の減であり、また施設利用率は55.5%で前年度に比較して0.2ポイントの増となっている。

建設改良費は609,342,932円で、前年度に比較して88,364,681円（12.7%）の減となっており、その概要は後述のとおりである。

なお、地方公営企業法第26条の規定による予算の翌年度繰越額が13,977,000円となっており、これは、下水道工事に伴う配水管移設工事によるものである。